社会福祉法人

ほしのくま

発行：社会福祉法人星のくま
住所：雲仙市愛野町乙2336－1
TEL：0957－36－7575
FAX：0957－36－7576
URL：hoshinokuma.com
発行責任者：磯田　正也

ほのぼのと　しあわせになろう
のんびりと　くじけるな　まけるな！





ワークセンターあいの

農福連携マッチング！

雲仙市と島原振興局農林水産部の雲仙地域普及課より農業者情報の提供を頂き、「農福連携マッチング」に取り組んでいます。

今回は愛野町や吾妻町の複数の現場で、イチゴの定植作業を行いました。農家さんによって方法が違い、最初は戸惑うこともありましたが、一つ一つ丁寧に教えていただきながら作業することが出来ました。







↑定植や定植後のポットの片付け↓





ベンチ式になると方法にも違いが！





Let's working！

「ワークセンターあいの」には４つの作業班がありますが、「厨房班」と「アイロンプレス班」にスポットをあてて、この夏の作業の様子をご紹介します！

夏休みに入ると子どもたちの利用が増え、食数が１００食を超えます。その調理や配膳、片付けなどを利用者さま６人で担っています。それぞれの持ち場でおいしい味付けや綺麗な盛り付けを心がけ、頑張っています。「昼食時間は決まっているが、献立は同じではない」、限られた時間の中で、様々な工夫と力を合わせて提供する昼食。大変さはありますが、食事を楽しんでもらえる喜びと達成感を感じることができる厨房班です。













アイロンの蒸気が夏の暑さにプラスされ、とても蒸し暑い中、季節を先取りで長袖製品の仕上げを行っています。１枚でも多く、出来上がり枚数を増やすことを目標に「昨日より今日」「今日より明日」とアイロンかけ、洋服畳み、ラベル付けとそれぞれの技術を高められるように日々、頑張っているアイロンプレス班です。

ちょっと息ぬき★

ランチタイム







例年、「夏はそうめん流し！」と作業の合間に出かけていましたが、コロナ禍ということもあり、感染症対策を取ながら作業班ごとに少人数に分かれて昼食の外出を楽しみました。久しぶりの外食でちょっと息抜きできたかな！？







ケアステーションあいの

雨にも負けず　風にも負けず

暑かった今年の夏はコロナ対策にオリンピック、大雨による自然災害と夏を満喫する間もなく駆け抜けていったように感じます。そして季節はいつの間にかすっかり秋の気配となり、早いもので令和三年度も残り半年となりました。例年であればこれからの半年間は楽しい行事が目白押しなのですが、残念ながら今年も「コロナの感染状況次第」になってしまいそうです。

そのような中、朗報が創作チームに飛び込んできました。（社）日本障がい者就労支援協会主催のアート展「風雅大賞」で千点を超える応募の中から見事「優秀賞」を受賞！日頃から手指のリハビリを兼ねて熱心に製作しているちぎり絵が評価されたのです。

まだまだ行動を制限されることが多い時代ですが、いつもと違う形になっても諦めず、利用者様と一緒に工夫しながら色々なことを楽しんでいきたいと思います。





今年も開催！祭だ！わっしょい！夏祭り！





星のくま夏祭りin２０２１を開催しました！

今年は大雨の影響で室内のみとなりましたが、映像での花火の演出から始まり、お神輿の登場と出だしから大盛り上がり。屋台にはヨーヨーすくい、おめんやさん、愛野といえば！ということでじゃがちゃんもありました。

夏祭り本番を楽しむことはもちろんですが、今年は屋台の看板や手作りのうちわなど準備から皆さんで取り組まれ、雰囲気を楽しむことが出来ました。







お祭りサイコー！











浴衣＆甚平で
ファッションショー★



準備もみんなで
頑張りました！

手作りうちわ★

















enjoy! summer vacation
everything will be ！

キッズステーションあいの

暑かった夏の間もマスクをはめ、お友達との距離をとりながら過ごす子どもたち。
今年の夏休みも昨年同様、思うように出掛けることも出来ず、室内で工夫しながら活動や学習を行いました。外食などの機会は減ってしまいましたが、雲仙市内での工場見学や工作体験、お弁当やテイクアウトの食事も子どもたちは笑顔で楽しむことが出来ました。
これから過ごしやすくなる季節、外での活動が思い切り出来るようになり、子どもたちのたくさんの笑顔が見れることを願っています。

おたのしみ外出



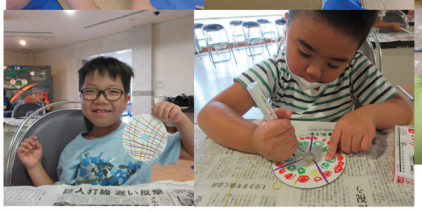



「ながさき」のおみやげでも有名なクルス。
出来上がるまでを教えてもらったよ！
なんだか、社会科見学みたいだったね。

工作かつどう

いつもケンカになって、ないちゃうぼくたち。でもね、ホントはとってもだいすきで、なかよくしたいって思ってるんだよ。大人になると「何それ？」とか思うダンボールもぼくたちにとったらお友だちとつながれるとっても大切なもの。




プールあそび






１年生にとっては、はじめての大きなプール。
学校では顔をつけるのだって「こわい！こわい！」、「いやだ！いやだ！」だったのに、夏休みにお友だちといっしょに「ちょうせん」したらできちゃった！
苦手こくふく！！お友だちパワーはすごいカだね。

おやつ



やっぱり一番のえがおはおやつの時間！

お勉強もがんばったよ！

様々な活動の他にも、夏休み期間中は毎日学習の時間を設定し、学習時間内は早く終わっても静かに待つ時間としました。早く遊びがしたい子ども達でしたが、読書をしたり、絵を描いたり…退屈だ！と思う時間も有効活用しながら一生懸命に取り組みました。



これからもお友だちといっしょに活動を行うことで「相手を思いやる」気持ちをもって安全に、楽しく過ごせるよう職員一同、サポートしていきたいと思います。



キッズステーションあいの（放課後等デイサービス）　TEL0957-36-7575　FAX0957-36-7576

アクティビティセンターあいの

今年の夏休みは「コロナ禍だけど、夏を楽しもう！」と活動の計画を行いました。日々の学習はもちろん、畑での野菜づくりに調理実習、おやつ作りも行い、時には暑さに耐えれず水遊び！と子ども達が考えながら夏ならではの活動ができました。残念ながら小グループでの社会体験（長崎市内への外出）は緊急事態宣言に伴い、行くことが出来ませんでしたが、「仕方がない！」と今できることを楽しみ、行動する子ども達に成長を感じる夏となりました。

アクティビティな夏！心も体も大成長！



なかまと一緒に思い出たくさん



つくったよ！



やさいに、やきにく、おやつを

すごく、たくさんつくって

みんなで食べて、遊んでたのしかったね！

チャレンジログ★ Vol.2

秋・冬野菜の植え付け完了！



キャベツに白菜、ブロッコリーの苗を植えました。畑仕事にも慣れてきた子どもたち。「どう調理して食べる？」と収穫後を思い浮かべ、楽しみながら育てています…笑。

おやつ革命！

毎日、活動のあとに提供させてもらっているおやつ。これまでの駄菓子屋風おやつに加え、１０月より「おやつ週間」と題し、放課後でも簡単に子どもたちが手作りできるものを提供していきたいと思います。

初回は果物＆野菜を使ったMIXジュース！「選ぶ→作る→食べる→片づける」の工程や素材の味を楽しみながら取り組めればと思います。詳しい日程については「アクティビティ通信」でお知らせします。お楽しみに～。

星のホームあいの

充実した日々にしよう！

今年の夏も花火やお祭りといった「夏らしい」イベントが中止となる中、入居者の皆さまが楽しく、安心して過ごせるかを一緒に考えながら過ごす日々が続いています。外出することが少なくなった今だからこそ、ホーム内での活動を充実させながら暮らしに活かしていければと思います。









買い物へLet's go!

久しぶりにちょっと足を伸ばし、大村まで衣料品や生活用品の買い物へ出かけました。今までのように長い時間の滞在は出来ませんでしたが、洋服を選んだり、昼食を食べたりと外出できたことは気分転換にもなったようです。









新生活が始まります！

今年の春より、「ケアステーションあいの」を利用されています松尾聖也さんが１０月１日より「星のホームあいの」へ入居されます。これまで短期入所を利用しながら少しずつ環境に慣れ、今では入居することを楽しみされています。




成長した姿を…




ステキな笑顔です

先日諫早特別支援学校より、在校生に向けて、卒業後の生活のイメージを沸かせるために「星のホームあいの」で生活を送られている小宮さんの元へ撮影にみえられました。緊張した様子を見せながらも懐かしい先生方に会えた喜びが大きな小宮さんでした。

祝★風雅大賞「優秀賞」受賞！

今回、「ケアステーションあいの」で日頃より手指のリハビリを兼ねて製作している「ちぎり絵」が評価され、「一般社団法人日本障がい者就労支援協会」主催のアート展「第一回「風雅」大賞」で千点を超える応募の中から見事「優秀賞」を受賞いたしました。

受賞した作品は、雲仙市千々石町にある〝大門松〟で有名な「橘神社」がテーマで、三月～四月の桜の花見客で賑わう様子を表し、コロナ禍で外出が制限される中ですが雰囲気だけでも楽しもうと皆さんで協力して仕上げたものです。創作チームでは、同系色の色鉛筆を何色も使用し、色塗りすることが得意な方が塗った紙を手先が器用な方がこまかくちぎった紙を貼り付け、完成させていきます。折り紙や色画用紙だけでなく、背景などを再現する色用紙にもこだわり仕上げています。

この作品の他にも毎月季節を感じ、楽しめるように様々な作品づくりに取り組んでいますので皆さま、ぜひご覧ください。



↑今回受賞した作品

※「風雅」大賞とは、障がい者が言葉では伝えにくい心で感じている気持ちや感情をアートの力を借りて表現するための場を提供させて頂き、それと同時に、同じような障がいを持った方々が自分はひとりではないと感じて頂くことで元気を受け取り、励みとして頂くことを目的とした大賞とのことです。



→ちぎりはまかせて！



↑真剣な表情です

congratulation！





～星のくまのあれ・これ～

毎号、たくさんの話トピックやお知らせを掲載している「ほしのくま広報誌」ですが…今回は第２０号！ということで、もう少し「星のくま」のことを知って頂くための情報を掲載します！

★利用者さまが行う作業に合わせた制服がある！

「ワークセンターあいの」では５年ぶりに制服を新調！今までの黄色の制服から澄んだきれいな青色の制服になっています。
この他にもオシャレなカフェを連想させるような制服（厨房班）もあります。







「ケアステーションあいの」にも一部の活動班に制服があります！こちらは水色の制服で活動に合わせて着替えを行うことで「メリハリをつける」ために取り入れています。今では皆さん、自主的に着替えを行い、活動へのやる気を見せています！

★花壇を整備中！お花で癒されて♪



法人内の敷地にはあちらこちらに花や作物があります。
国道に面した大きな花壇もあり、現在、季節に合わせた花を咲かせるために整備中。皆さん、お立ち寄りの際にはぜひ、お楽しみください。

★実は…相談支援事業所の名前は「ステラ」！

広報誌の中にあまり登場しない「相談支援」。事業所名を変更して、程よく経過しておりますが、まだまだ「ステラ」に慣れず、「ほしのくま」とお伝えしている日々です。
※「ステラ」はドイツ語で「星」という意味です。



安心・安全な入浴を…
特殊介護浴槽導入！
～生活介護事業～ケアステーションあいの

この度、特殊浴槽と電動ストレッチャーを新しく導入致しました。導入に伴い九月からの浴室改修工事で利用者様・ご家族の方にはご不便・ご迷惑をお掛け致しました。これまで狭い浴槽内で不安定な姿勢で入浴されていた方やプール浴槽で入浴されていた方など、十月からは、この綺麗になった浴室で特殊浴槽・電動ストレッチャーを使用して『安心』・『安全』・『快適』な入浴ができるようになればと思っております。導入することで私たち職員の体の負担の軽減も図り、これからさらに質の高い支援が提供できるように頑張っていきたいと思います。



広々とゆっくり入浴できます！





リラックスな雰囲気で♪





引き続き、ご協力お願いします！
新型コロナウィルス感染症対策実施中！

日頃より利用者さま、関係者の皆さまには感染対策へのご協力、ありがとうございます。ワクチン接種も進み、少し明るい兆しを感じつつも、まだまだ予断を許さない状況があります。
現在の星のくまの感染対策実施状況についてお知らせ致します。



★現在の行動レベルは…？

星のくまでは「感染症拡大及び自然災害発生時における行動指針」を作成しております。県内はもちろん、事業所が所在する雲仙市の感染状況などに合わせ、レベル０～レベル５の６段階に分け、営業の有無や送迎・活動範囲、外部の皆さまへの対応などの行動指針を定めております。
※レベルによっては通所や短期入所など地域を限定して利用をお願いしたり、事業所外での活動自粛、モニタリング等の来所をお断りする場合がありますので随時、お問い合わせ下さい。

★ワクチン接種状況は…？

令和３年９月上旬現在の星のくまにおけるワクチン接種状況（２回接種済み）をお知らせします。

☆法人全体の職員
　約８０％

☆利用者さまについては…
・ワークセンターあいの
　約８０％　（就労継続支援B型）
・ケアステーションあいの
　約５０％　（生活介護・短期入所）
・星のホームあいの
　約８０％　（共同生活援助）

★その他には…

法人内で勤務する看護師などで構成される医療チームを中心に「N-CHAT」を用いた職員の体調管理や県内の感染拡大地域から利用を再開される利用者さまや職員への抗原検査の実施を行っています。



これからも安心して過ごして頂けるように取り組みます！

編集後記

まだまだ暑い日は続きますが、道端に咲く花や、空や雲の様子から秋らしさを感じられるようになりましたね。秋と言えば、食欲の秋に読書の秋、スポーツの秋など、さまざま。私はもっぱら食欲の秋でしょうか…。いろんな秋を利用者の皆さまと過ごしていきたいです。
さて、今号で星のくま広報誌はめでたく第二十号を迎えることが出来ました！　記念すべき号の編集に携わることが出来て、光栄に思います。これからも利用者の皆さまの笑顔をたくさんお届けしてまいりますので、ぜひご覧ください。

星のくま　広報部

～ご相談ください～

障がい福祉・福祉制度などお困りことがあれば、お気軽にご相談下さい。

社会福祉法人　星のくま
雲仙市愛野町乙2336-1
0957-36-7575



情報発信中！